

体育（2年）

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）	指導者
2単位	2年全学科	カラーワイドスポーツ（大修館）	体育担当教員

教科・科目の目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを味わうことができようとして自ら進んで運動をしようとする。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心や興味をもち、学習に取り組もうとする。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を身に付けている。
評価方法	授業中の活動状況 出席状況 学習態度 班ノート記入内容 自己評価表	授業中の活動状況 班ノート記入内容	授業中の活動状況 班ノート記入内容 スキルテスト	授業中の発問に対する応答 班ノート記入内容 授業中の活動状況

到達目標に向けての具体的な取組 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	安全に自主的・合理的に運動ができる知識と技能を身につけさせる 生涯にわたって計画的に運動ができるための、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけさせる。 スポーツにおけるルール的重要性を理解させ、ルールを決めるところから学ぶ意欲を持たせる。 グループ学習を取り入れ、自ら考える機会を多くする。 個人内評価が適切にできるよう、授業外での自主的な学習活動等も評価に含める。
---	---

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準	評価観点	
4	体づくり運動	<p>自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題を持って次の運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりするとともに、これらの運動を生活の中で実践できるようにする。</p> <p>体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、お互いに協力して運動ができるようにする。</p> <p>自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるよ</p>	関心・意欲・態度	自分の体や心の状態に気付き、体の体調を考えながら、体づくり運動を楽しく行おうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。	
			思考・判断	自分の体力や体調に適した運動を選んでいる。 運動の内容や方法を見直したりして、新しい運動を選んだりしている。	
			技能・表現	自分の体力や体調に応じた運動を身に付け合理的に体力を身につけることができる。 新しい運動をすることができる。	
			知識・理解	体づくり運動の特性を理解した中で、運動の種類と体力の向上する運動の行い方を説明できる	

		うにする。		
5 ・ 6 ・ 7	選択 柔道 剣道・ ダンス	自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにする。	関心・意欲 ・態度	自分の能力に応じた技を習得し、相手との攻防を展開して競い合う武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		伝統的な行動の仕方に留意して、お互いに相手を尊重し、練習や試合ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、禁止技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようにする。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、技の組み合わせや返し技を身に付けられるように課題を設定している。 試合などから新しい課題を見つけ出し、練習方法を考えたり、選んだりしている。
		自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。	技能・表現	自分の能力に応じた技や対人技能を習得し、試合や練習をすることができる。 試合で、相手の動きや技に応じて、技をかける・防ぐ・返すなどを行うことができる。
		自己の能力に応じた課題を持って行い、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりして交流し、発表することができるようにする。	知識・理解	武道の伝統的な考えや特性を理解した中で、各種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。 各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。
		お互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりすることができるようにする。	関心・意欲 ・態度	ダンスの演技のできればえを求め、リズムに乗って動く、仲間とかかわりをもって動くダンスの楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。また、発表交流会の企画や運営ができるようにする。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、イメージが表現できるように課題を設定している。 課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。
			技能・表現	自分の技能に応じた技を身に付けスムーズ・リズムカルに表現することができる。 新しい技をリズムカルに表現することができる。
			知識・理解	ダンスの特性を理解した中で、技の種類、技の組み合わせの構成やイメージした表現を考えられる 発表の仕方や共感、感動する鑑賞の仕方を説明できる。
8 ・ 9 ・ 10	選択 球技	チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	思考・判断	技能のできればえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームがで	技能・表現	自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。 練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。

		<p>きるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p> <p>チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。</p>	
11・12	選択 陸上競技	<p>自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができるようにする。</p> <p>お互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。</p> <p>自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>競技の向上を求めて、全力で取り組み、陸上運動の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるの中で目標や課題を設定している。</p> <p>課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるをすることができる。</p> <p>走る・跳ぶ・投げる中で、基本的な動きを身に付け、競技したり記録を高めたりすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>陸上運動の特性を理解した中で、種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。</p>	
1・2・3	選択 (球技)	<p>チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。</p> <p>チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>技能のできばえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。</p> <p>練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。</p> <p>新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、</p>	

する。

チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようになる。また、競技会の企画や運営ができるようになる。

種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。

各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。